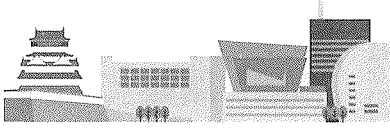


ふれあいネットワーク
こくら北

社協だより

第159号



発行 小倉北区社会福祉協議会

小倉北区大手町1番1号 区役所3F
TEL (093) 571-5452 FAX (093) 571-9553

令和2年度
事業計画(抜粋)

基本理念

みんなが安心し暮らす社会の実現

我が国においては、超高齢化と少子化による人口減少に加え、ライフスタイルや価値観の変化等により、家庭や職場そして地域という人々の生活圏域における支え合いの基盤が弱まるとともに、社会的孤立や生活困窮などの地域課題がより複雑・多様化しています。

また、全国で頻発する自然災害に対応するため、関係機関との役割分担のもと地域福祉の充実が一層求められています。

国においては、身近な生活圏域において、住民が世代や背景を超えてつながり相互に役割を持ち支え合う「地域共生社会」の実現を目指しています。

小倉北区社会福祉協議会として「北九州市地域福祉活動第五次計画」に基づき、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めており、制度では対応しづらい福祉課題等を住民同士の助け合いやふれあいの取り組みにより解決していくことを目指し、令和2年度は次の事業を推進します。(重点的の事業を中心に掲載)

基本目標Ⅰ

みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- ・「こくら北社協だより」、ポラ

ンティア・市民活動センター
広報紙「ひまわりねっと」で
福祉情報等を紹介します。

- ・ 区・校(地)区社協版ホームページを作成、更新し、幅広い人々に情報を発信します。

2 福祉教育の推進

- ・ 地域や学校等と連携し、次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラフ活動)を支援します。
- ・ 住民啓発講座等による福祉教育を実施します。

3 地域福祉人材の育成

- ・ 様々な研修の機会を通じ、地域福祉活動者の育成や新たなボランティア・市民活動の担い手を増やします。

基本目標Ⅱ

住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

1 小地域福祉活動の活性化

- ・ 校(地)区社協活動を支援し、ふれあいネットワーク活動を中心とした小地域福祉活動の充実を図ります。
- ・ 複雑・多様化するニーズに対応する住民主体の互助活動を支援する生活支援体制の構築を目指します。
- ・ 校区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議を定

期的に開催し、情報の共有や地域活動の活性化を進めます。

- 2 ボランティア・市民活動の支援
- ・ ボランティア・市民活動コーディネート機能を強化します。
- ・ 各種ボランティア講座を企画、実施します。

3 災害時の福祉救援体制づくり

- ・ 関係機関、団体等との連携強化を図り、災害時の福祉救援体制づくりを進めます。
- ・ 災害時のボランティアコーディネート機能の充実を図ります。

4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり

- ・ 民生委員・児童委員や共同募金会をはじめ、福祉施設や専門職等との連携を深め、地域福祉活動の活性化に取り組みます。

5 小地域福祉活動計画の推進

- ・ 地域の課題解決に向けた校区単位の地域福祉活動中期計画の策定を支援します。

基本目標Ⅲ

一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- ・ 支援を必要とする人に適切な情報やサービスが繋がるよう、広報や利用促進を図ります。

- 2 社会参加・自立の支援
 - ・ 住民主体による、生きがいや健康づくり等を目的とした地域の居場所づくり「サロン活動」を支援します。
 - 3 調査・研究、提言
- 組織体制の強化
- 1 区社協推進基盤の強化
 - ・ 財政基盤強化のための収益事業・賛助会員等を拡充します。
 - ・ 法人統合による組織改革を受け、地域支援機能の強化を進めます。

小倉北区社会福祉協議会の重点目標

「あいさつは支えあいの第一歩」
地域内での交流を深めるため、まずは挨拶や声かけからはじめ、日頃から「顔の見える」関係づくりに努めましょう。

人の絆の再構築「困ったときは、お互いさま」
地域での交流により明らかとなった課題に対して地域内で行うことができることは地域内で助け合えることが、やがては自分も助けることとなります。

シリーズ 民児協通信



小倉北区民児協活動を紹介します

◎研修① (12月)：小倉北区主任児童委員部会

任期満了(3年)に伴う一斉改選後、最初の主任児童委員部会では、グループに分かれ、日頃の活動内容について情報交換を行いました。先輩委員の皆さんから新任委員の皆さんへ今後の主任児童委員活動に関わる様々な情報提供をしていただきました。

最も多く話題に挙がっていたのは、各校区の小・中学校との連携についてです。定例会議や学校行事の参加等を通して情報交換や情報提供を行い、問題等の早期解決に向けた行政関係機関等との連携がスムーズにできるよう活動していただいています。

毎年2月に行われる各小・中学校の入学説明会では、主任児童委員の皆さんがそれぞれ出席され、「主任児童委員活動紹介チラシ」を配付しながら、日頃の見守り・相談支援活動について説明を行っています。チラシには、担当委員の氏名・連絡先を記載していますので、困ったことや悩みごとがある際にご相談いただけます。また、主任児童委員をはじめとする民生委員・児童委員には「守秘義務」があり、相談者のプライバシーには十分な配慮をしていますので、心配ごとなどがありましたらご相談ください。

◎研修② (2月)：令和元年度 主任児童委員研修会

2月14日に、北九州市の主任児童委員を対象とした研修会が開催されました。

前半は、北九州市の関係機関より「のびのび赤ちゃん訪問」と、「児童虐待防止の取り組み」について講演が行われました。「のびのび赤ちゃん訪問」は、北九州市と連携して行う主任児童委員活動のひとつで、生後4ヶ月以内の乳児がいる家庭を訪問し、子育て情報の提供等を行っています。また、子どもに対する虐待について、児童相談所での対応件数は全国的に年々増加しており、北九州市も同様となっています。それに伴い、厚生労働省から警察と児童相談所の情報共有の強化を受け、平成30年11月28日に、福岡県警・福岡県・北九州市・福岡市で情報共有に関する協定を締結し、平成31年4月1日には、「北九州市子どもを虐待から守る条例」が制定されました。

後半は、北九州市スクールカウンセラーで臨床心理士のシャルマ直美氏による「不登校」をテーマにした講演が行われました。北九州市の不登校児童・生徒の現状、不登校の子どもたちや保護者にかかわる時大切にしたいこと、子どもの「ピンチをしのぐ力」について、お話しいただきました。「ピンチをしのぐ力」は、落ち込んで立ち直ることができる回復力、ストレス等をしなやかに受け止める柔軟性、不安定な状況でも対応できる適応力等を表しています。

今回の研修は、児童虐待やいじめの増加等、子どもや子育て家庭の抱える問題が深刻化する中で、子どもたちにとって身近な「おとな」である主任児童委員は、何を行っていけばよいのか、改めて確認していただけたと思います。また、昨年12月の一斉改選より新たに主任児童委員として活動を始めた皆さんには、研修で得られた知識や情報について、今後の主任児童委員活動の参考にしていただきたいと思います。

「なることは特別なことではない」ということを意識し、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指した今後の到津校区社会福祉協議会の活躍にこうご期待です。



認知症支援・介護予防センター
中村真理子 地域活動コーディネーター

赤い羽根共同募金・歳末 助け合い募金へのご協力 ありがとうございました



小倉北区では昨年度、自治会を通じた戸別募金や学校・職域での募金、イベント募金等により、赤い羽根共同募金7,936,103円、歳末助け合い募金5,329,959円が集まりました。皆様のご厚意に深謝申し上げます。

この浄財は、福岡県共同募金会を通じて各種社会福祉団体等に配分され、令和2年度の様々な地域福祉活動事業推進のために使われるほか、一部は、被災地のボランティア支援活動や県域での障害者・児童支援活動などにも役立てられます。

小倉北区社会福祉協議会でもこの配分金を活用し、ふれあいネットワーク活動をはじめとした支え合いのまちづくりを進めてまいります。

- ・ふれあいネットワーク活動に 5,545,209円
- ・児童青少年の健全育成活動に 770,000円
- ・障害者等の支援活動団体に 320,000円
- ・地域福祉活動団体への助成に 575,000円
- ・自治会活動等の振興のために 610,000円
- ・福祉情報の広報、啓発活動に 1,880,000円
- ・福祉活動者の交流事業に 400,000円
- ・災害等の見舞金、弔慰金に 100,000円



配分金の使途、事業計画の詳細は共同募金会のホームページに掲載されています。

当日予約OK!! その場で現金お支払い!!

出張買取 すべて無料!!

出張費、査定費、キャンセル・返金代金

1点でも喜んで出張買取無料でお買い致します! 遺品整理・生前整理など
どんな事でもご相談ください お片づけのお手伝い致します。

093-967-2880

おたからや井堀店 〒803-0835 小倉北区井堀 3-1-7
福岡県公安委員会許可第 902051910002号



介護ロボット
バルロ

三萩野デイサービス体験利用受付中
TEL.093-932-0225 小倉北区白銀 2-11-4



8 年長者の里小倉三萩野
種類の介護施設

地域支援 コーディネーター ネットワーク

松本Co.



奮闘記

認知症サポーター 養成講座編

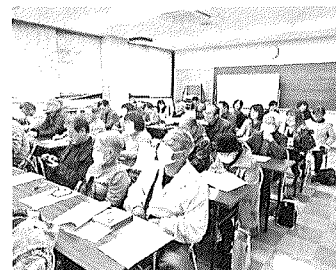
『自分たちの住んでいる地域。見守り、助け合いについて考える』をテーマに、1月と2月の2回、到津校区で「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

認知症は脳の病気によって起こる症状や状態の総称で、誰にでも起こりうるものです。正しい理解と早期の処置等により、予防や症状の改善、進行を遅らせるといった対応が可能な場合もあり、また、例えば認知症になったとしても、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくこともできます。

そうした認知症の人やその家族の人を温かく見守る「応援者」を一人でも多く増やしていくことが重要であり、そのための学びの場が認知症サポーター養成講座です。

到津校区社協は、昨年『みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり』を目標に小地域福祉活動第一次計画を策定しました。重点実施項目として、ふれあいネットワークの充実・強化を掲げ、見守り・助け合い活動の取り組みを校区全体に広げていくきっかけづくりになればと、今回の講座の実施に至りました。

講座一日目は、北九州市発行の認知症を学ぶハンドブックを活用し



夜間の開催にも関わらず、たくさんの方が参加されました

た、「認知症ってなんだろう」「認知症の人とその家族の関わり方」等について学ぶ基礎編として、また、講座二日目は、若年性認知症になられた方とその家族の方の動画を視聴するなど応用編として実施しました。2回にわたってじっくりと学びを深めることで、認知症は特別なことではなく、身近に起こりうることだと認識することができました。

また、講座の最後には、認知症支援・介護予防センターより講師としてお招きした中村真理子地域活動コーディネーターによる「認知症の人もその家族も心豊かな生活が送れますように」との願いが込められた大人向けの絵本「とかげのアンソニー」の読み聞かせがあり、あらためて温かな人の心や家族の大切さについて考えさせられました。

今回の講座で60人以上の認知症サポーターが誕生しました。「認知症

中島校区の講座編

『ずっと中島で暮らしたい！住みなれた地域でつくる心ゆたかな暮らし』をテーマに、11月から2月で全3回、中島校区のふくしのまちづくり講座が開催されました。

ふくしのまちづくり講座は、地域の福祉課題の解決や新たな人材の発掘などを目的に、校(地)区社協が主体となり、市・区社協と協働して開催する住民講座で、日時や会場はもちろん、その地域ならではの課題や目的に合わせた内容で実施できるオーダー形式の研修会です。

中島校区は、スーパーや市場、総合病院等もあり、100円バスで小倉駅まで行ける利便のよい平坦な市街地で、高齢者が住みやすい地域です。近年は、大型マンションが増え、若い世代も多くなりましたが、近所付き合いの希薄化が進んでいる地域でもあります。

歳をとっても、住みなれたまちで、いつまでも健康で、いきいきと暮らしていくために「今からできること」を一緒に考え、「困ったときはお互いさま」「できる人が、できることを少しずつ」を実践できるようにしたいとの思いから、この研修



主催者の中島校区社会福祉協議会 刈北憲佳会長からのごあいさつ

二日目は、警報が出るのでは？と心配するほどの大雨。そして三日目は、今季初めての雪が舞う風雪警報の中でしたが、たくさんの方に参加していただき、『みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり』のために地域住民一人ひとりに何ができるのかを考える良い機会となりました。



民生委員さんや受講者も参加しての寸劇でリアル感を演出！

が開催されました。研修一日目は、地域支援コーディネーターがクイズを交えながら、「ふれあいネットワーク活動」の見守りのポイントなどについて講義しました。二日目は、コミュニケーションアドバイザーの櫻木壽子先生に、「あなたもよし わたしもよし」と題して「コミュニケーション」と題して、グループワークを中心に「否定しないで相手を受け入れる思いやり」の気持ちの大切さを学びました。そして、最後の三日目は、これからの超高齢社会で重要になる、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について学びました。地域の方にも出演いただいた寸劇を交えての説明は大好評でした。

今日をよりよく生きるために。みんな笑顔が増えていく介護を目指します。

社会福祉法人鷹羽会

TAKAHAKAI

軽費老人ホーム階寿園

階寿園デイサービスセンター

グループホーム花みずき

小倉北区篠崎1-9-5

TEL.093-592-3561 FAX.093-592-3562

【原則20~64歳対象】

障害年金をもらい忘れていませんか？

障害年金とは、病気やケガで日常生活や就労に支障が生じている方に支給される公的な年金のひとつです。

受給例

- うつ病で障害厚生年金2級110万を受給
- 脳梗塞で障害厚生年金2級185万を受給
- 腎不全で障害基礎年金2級78万を受給など

備前

精神疾患・知的障害・人工透析
脳出血・心臓病・肢体障害
人工関節・ICD・がんなど他多数

☎093-533-8200(8:00~21:00)

社労士による無料相談受付中です

北九州 障害年金サポートセンター

運営：平井社会保険労務士事務所 北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階A号

◆福祉への「寄付」
「ありがとうございます」

令和元年12月24日から
令和2年3月31日まで受付分
〈敬称略、順不同〉
香典返し
山中
(豊前市)

篤志寄付
小倉北区ボランティア連絡協議会
小倉北区アルタプ収集ボランティア
佐藤 洋子 (金田二丁目)
匿名 4件

思いやりの気持ちを託して

地域福祉の向上に役立ててほしいとの願いを込め、様々なご寄付が寄せられました。

A級小倉からの長年に

わたる「寄付

A級小倉(京町二丁目)から年に数回ほど寄せられる「寄付は、事業売上の一部ではなく、「困っている人たちの助けになれば！」という願いのもと、従業員のみならずが募金箱を持ってこつこつと集めた硬貨を集約したものです。毎回、持ち上がらないほどの重量になるたくさん硬貨には、たくさん温かい思いが詰め込まれているようです。

介護支援ボランティア事業

のポイント換金・寄付

介護支援ボランティアの澤江眞智子さん(今町二)より今年もご

寄付を頂きました。

この事業は、65歳以上の方が市内の介護保険施設等でボランティア活動をを行った場合にポイントが付与され、貯まったポイントを換金または寄付できるものです。

詳しくは、北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター Tel 881-6500まで

◆社協会員へのご協力

「ありがとうございます」

令和元年12月24日から
令和2年3月31日まで受付分
〈敬称略、順不同〉

【団体会員】

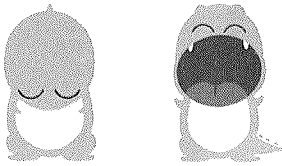
小倉中央校区天神島社会福祉協議会
小倉北区食生活改善推進員協議会

令和元年度にご支援下さった会員は、団体会員46件、個人会員480件です。

皆さまのご協力を感謝いたします。本当にありがとうございます。

令和2年度も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

ご協力
ありがとうございます
ございます



皆さまからお寄せいただいた ご寄付・会費は、
社協の事業を通して、地域福祉のために活用させていただいています。

身近な地域の福祉活動を進めるために

小倉北区内25校(地)区社会福祉協議会が中心となって実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」において、高齢者、障害のある方、子育て中の人などで、支援を必要とする方を、地域で「見守り」「助け合い」「話し合い」の仕組みづくりを推進し、「みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指しています。

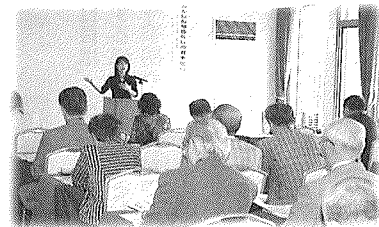
誰もが気軽に参加できる
地域のサロン活動



子どもたちによる
「ウエルクラブ活動」「福祉体験学習」

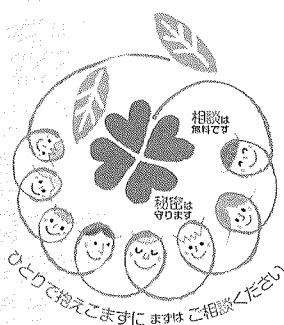


福祉への理解を深める
「出前講演」「福祉協力員研修」



ご加入いただいた方には、広報紙「こくらきた社協だより」にお名前を掲載させていただいております。
(匿名をご希望の方はお申し出ください)

仕事や生活
などの困りごとを共に考え
支援します



小倉北区いのちをつなぐネットワークコーナー

(受託:北九州市社会福祉協議会・
グリーンコープ生活協同組合ふくおか共同事業体)

相談時間/月~金曜日 8:30~17:15
(祝日・年末年始を除く)

〒803-8510 小倉北区大手町1-1
小倉北区役所保健福祉課 ☎582-3478(直通)

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。



小倉北区社協ボランティア・市民活動センターだより

第 39 号

小倉北区ボランティア・市民活動センター

●電話・FAX (093) 562-2051
 ●E-Mail : kokurakita@kitaq-shakyo.or.jp
 ●月曜日～金曜日 8:30～17:15
 (土・日・祝日はお休みです)

ひまわりねっと

小倉北区ボランティア養成講座

「いつまでも元気で！～笑って楽しくレクリエーション～」

1月24日(金)、ちーむ・レク☆さす代表 尾中 美穂さんを講師にお迎えして、北九州市男女共同参画センタームーブにて、ボランティア養成講座を開催しました！

今回は、地域のサロン活動者の方に多くご参加いただき「遊びはなぜ楽しいのか？」をテーマに、サロンでできる楽しいレクリエーションをたくさん教えていただきました。

まずはじめに、尾中先生から「手を縦に動かしましょう」と言われたみなさんは、思い思いのやり方で動かしますが…周りを見渡すと、それぞれが高さや速さ、向きなど全く違う動きをしていてびっくり！「言葉だけではなく、実際に前で見せることが大切。お手本で手を高く挙げゆっくり行くと、参加者も同じように真似をする。小さいことの積み重ねが筋力アップに繋がる」と教えていただき、相手の立場になって伝えることの大切さを学びました。

次からは早速、楽しいレクリエーションの連続です！「掛け声に合わせて右手で頭を叩いて、左手でおなかをさすりましょう」頭では分かっている、つつい体は違うことをしてしまう自分に、みなさん笑いが込み上げてきます。また二人一組になって、手足を上げて「よっこいしょポーズ」では、お互い初めましてとは思えないほど盛り上がり、会場は笑い声でいっぱいになりました。レクリエーションを通して、笑顔の輪が広がっていくことを実感しました。

簡単に単純な動きでもゆっくりと行くと、筋肉が付く充分な運動になるだけでなく、脳の活性化にも繋がり、認知症予防になるそうです。また、掛け声やポーズなどの工夫をすることで、より楽しいレクリエーションとなることを学びました。

「地域の元気は個人の元気から」を合言葉に、尾中先生の笑いの溢れる楽しいお話とレクリエーションを通して、自分自身も楽しみながらサロン活動を続けるために大切な心構えや、遊びを通じた人間関係のつくり方などを楽しく学ぶ講座となりました。今回学んだことを地域に持ち帰って、今後の活動に活かしていただけると幸いです。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました！



元気いっぱい！パワフルな尾中先生



せーので、よっこいしょ！



体も口も頭もフル回転で、レクリエーション

春です！新しい季節にボランティアを始めてみませんか？



町田さん(左)と同乗ボランティアの市川さん(右)と。お二人ともとっても素敵な笑顔！

何か新しいことを始めてみたくなる、春…！
 一歩踏み出して、新生活にボランティア活動を取り入れてみませんか？
 当センターでは、「シルバーひまわりサービス」の運転・同乗ボランティアさんを大・大募集しています！

このサービスは、高齢者の通院・買い物など日常的な外出を支援するため、ボランティアさんのご協力のもとに送迎を行うサービスです。送迎車の運転担当の運転ボランティアと、日誌記入等担当の同乗ボランティアの、2名1組で活動していただいています。同乗ボランティアは資格等不要ですが、運転ボランティアは1日程度の研修(福祉有償運送協力者研修)が必要です。(2種免許取得者は免除)

ここで、いつも当サービスにご協力いただいている町田 音吉さんをご紹介します！

始めたきっかけ

70歳の節目を機会に修活を考えていたところ、今までろくな生き方をしなかつた事に気が付き、罪滅ぼしのためにボランティアに興味を持った次第です。

送迎ボランティアの楽しみ

利用者の方から感謝されると恐縮しますが、利用者さんや同乗ボランティアさん、また社協職員の方々との交流が魅力です。この活動を通して、様々な方と親しく会話や行動をする中で、脳や体の活性化に繋がりました。

ボランティアを始めようと考えている人へ一言

ボランティアという言葉にはじめは圧倒されますが、あまり大層なことだと思わずに、まずは気軽に始めてみるのが肝要だと思います。ボランティア参加当初は、「人の為に何かしてあげたい」と考えていましたが、実際に携わってみると、「自分自身への恩恵」の方が大でした。

「泣こかい跳ばかい、泣こよっかひつ跳べ」と言われるように、思い立ったらあれこれ考えずとにかく行動することが、アンチエイジングになるのだと思います。

町田さん、いつも本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。興味のある方、一度体験してみませんか？お電話、お待ちしております(^ ^)！



いつも安全運転の町田さん

令和2年度 ★ ボランティア活動保険の プランが見直されました! ★

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中や往復途上に起こる様々な事故や怪我に対する備えとして加入いただく保険です。(下記広告参照)

今回、ボランティアの増加とともに事故の発生も増加するなか、保険料を据え置きながら制度を維持するため、これまでの4プランが以下の2プランに整理されることとなりました。

①基本プラン ②天災・地震プラン

＜基本プランと天災・地震補償プランの違い＞

平時・災害時とも、地震・津波・噴火に起因する死傷に対し、基本プランでは補償対象外、天災・地震補償プランでは補償対象となります。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。活動中の二次被害への備えとしても、あらかじめ②天災・地震補償プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

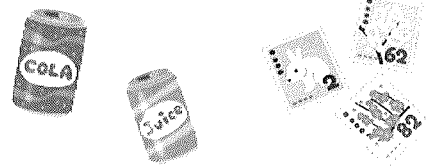
収集ボランティア

～ ご協力ありがとうございます ～

- ◆ 南丘団地第3町内会
- ◆ 足原市民センター
- ◆ 南小倉市民センター
- ◆ 清水市民センター
- ◆ 北九州シティホーム
- ◆ 小倉北体育館
- ◆ 共済組合年金給付係
- ◆ ガールスカウト福岡県 第9団
- ◆ 山根 八穂子
- ◆ 藤壺 元子
- ◆ 太田 清子
- ◆ 佐藤 洋子
- ◆ 田畑 シゲ子

(順不同・敬称略)

ボランティアセンターでは、古切手・プルタブ等を集めて換金し、地域福祉のために役立てています。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		X	○	
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割引適用

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ

(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK19-12918 2020.2.10作成〉

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。